Miranda-LT スタートガイド

本書は、Miranda-LT を初めて使用する際の手順を記載したものです。
Miranda-LT がパソコンにインストールされている前提で記載しています。Miranda-LT のインストール後にお読みください。

本書では、Miranda-LT のインストール後、収集する信号を登録し、「リアルタイムトレンド」画面を表示するまでの
一連の操作の流れを説明します。信号の登録に GX Developer または GX Works2 のプロジェクトファイルを使用する場合は、
📖「1 準備するもの」をお読みください。

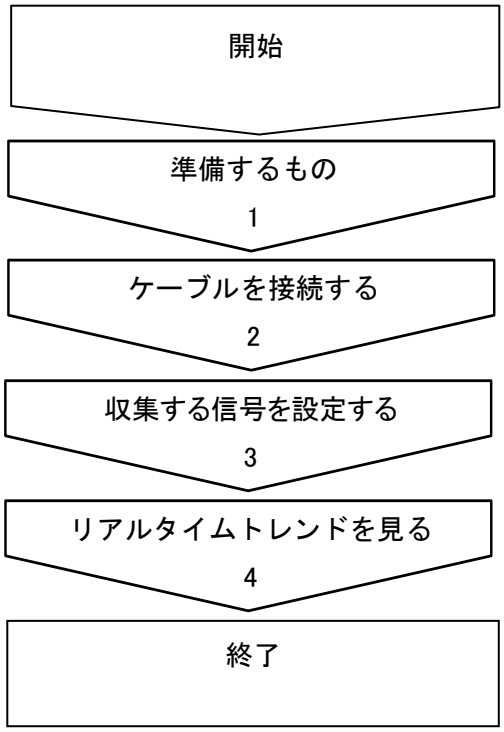


図 1 リアルタイムトレンドを見るまでの流れ

1. 準備するもの

・GX Developer または GX Works2 のプロジェクトファイル（無くても可）

補足

GX Works2 のデバイスコメントをインポートする場合、以下の手順でファイルを指定してください。
・ワークスペース形式プロジェクト内の*.gd2 ファイルを指定してください。
・1 ファイル形式プロジェクト(*.gxw)を使用している場合は、ワークスペース形式プロジェクトとして保存後、*.gd2 ファイルを指定してください。

2. ケーブルを接続する

接続対象の MELSEC とパソコンを接続形態に対応したケーブルで接続します。
指定可能な接続方法の一例は次の通りです。

補足

接続形態の詳細　Miranda-LT 取扱説明書「4.1.6 (2) 接続先指定画面」

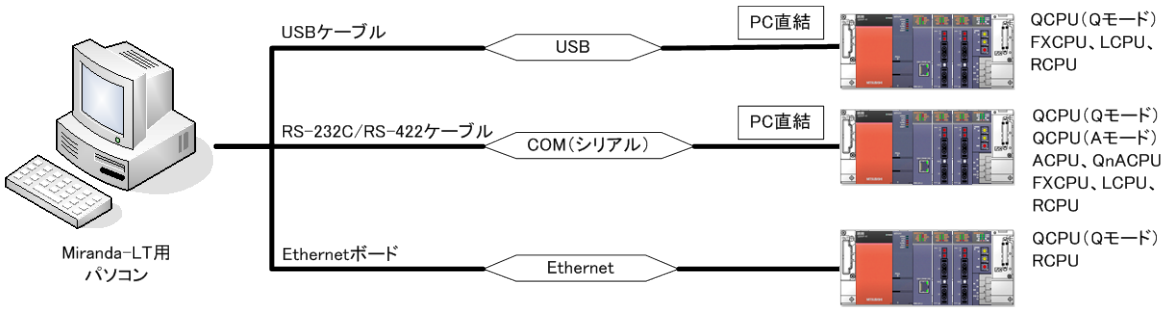


図 2-1 USB／シリアル／Ethernet 接続時の接続形態とシーケンサ CPU

3. 収集する信号を設定する

3.1. MirandaEngineer 起動

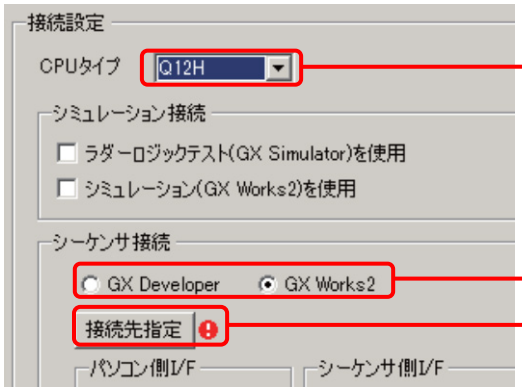
[スタート]→[プログラム]→[Miranda]→[MirandaEngineer]を選択します。
または、デスクトップにある MirandaEngineer のショートカットをクリックします。

3.2. 収集先の設定

収集先とは、接続したシーケンサ CPU のことを指します。
シーケンサ CPU の CPU タイプの選択および、接続に関する設定を行います。

① MirandaEngineerのツリーから[収集先(MELSEC)]を選択する。

図 3-1 収集先選択



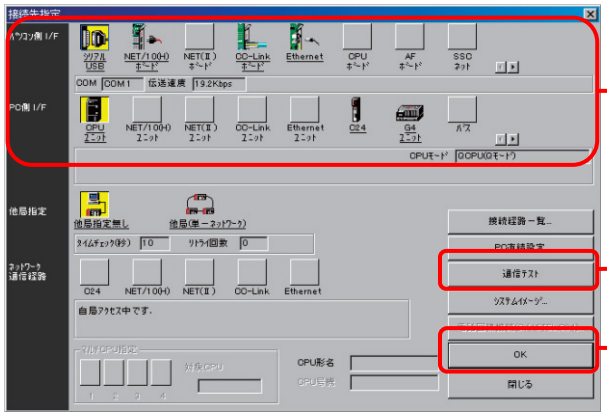
② 接続するMELSECのCPUタイプを選択する。

補足

・選択可能な項目 Miranda-LT 取扱説明書
「表 1-3 Miranda-LT が対応するシーケンサの CPU タイプ」

③ シーケンサ接続方法を選択し、[接続先指定]をクリックする。

図 3-2 CPU タイプ選択



④ MELSECと接続する方法を指定する。

補足

・詳細は Miranda-LT 取扱説明書「4.1.6(2) 接続先指定画面」

⑤ [通信テスト]をクリックして正常に通信できることを確認後、
[OK]をクリックする。

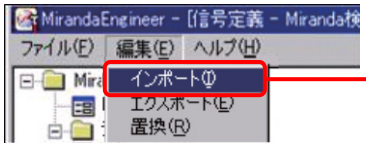
図 3-3 接続先指定画面

3.3.　収集信号の登録

収集先のシーケンサ CPU から収集する信号を設定します。
設定した信号のうち、グループに割り当てられた信号がデータ収集されます。

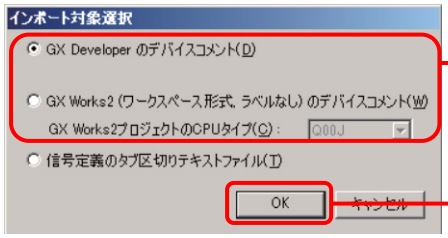
(1) GX Developer または GX Works2 のプロジェクトファイルを使用する場合

信号の登録は、GX Developer や GX Works2 のプロジェクトファイルからインポートできます。



① MirandaEngineerのツリーから[信号定義]を選択する。
メニューから[編集]→[インポート]を選択する。

図 3-4 インポート選択

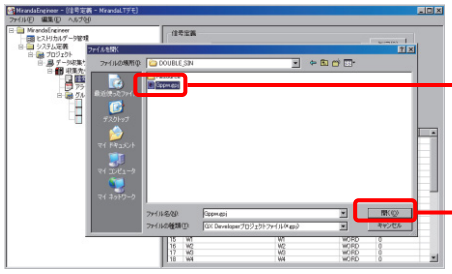


② [GX Developerの・・・] [GX Works2の・・・]のいずれかを選択する。
[OK]をクリックする。

補足

・GX Works2 のプロジェクトファイルを使用する場合は、GX Works2 プロジェクトで指定している CPU タイプを選択してください。

図 3-5 インポート対象選択



③ インポートするファイルを選択し、[開く]をクリックする。

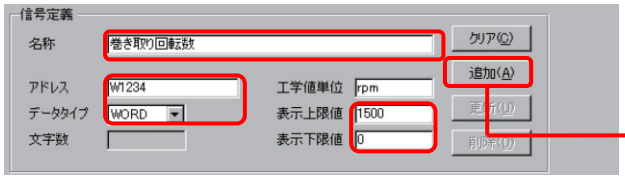
ファイル内の信号の内容が信号一覧に追加されます。

補足

・詳細は📖Miranda-LT 取扱説明書「4.1.7(2)(b) インポート方法」

図 3-6 インポートファイル選択

(2) 手動で信号を登録する場合



① MirandaEngineerのツリーから[信号定義]を選択する。

② 信号名称(デバイスコメント)、デバイスアドレス、データタイプ、表示上限値、表示下限値を入力し、[追加]をクリックする。

補足

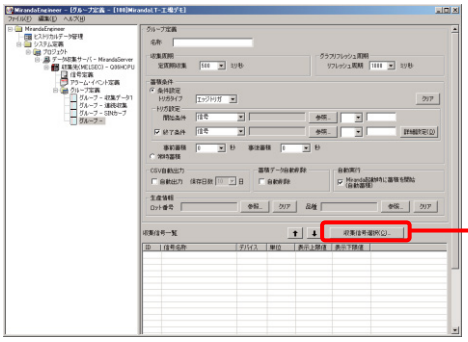
・詳細は📖Miranda-LT 取扱説明書「3.3.3 収集信号の登録」

信号一覧の最後に追加されます。

図 3-7 信号登録

(3) グループの登録

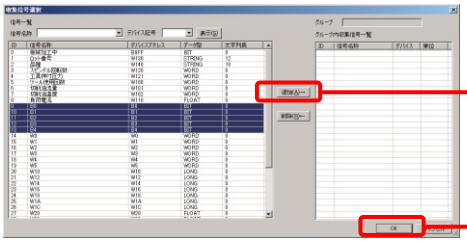
収集信号をグルーピングします。このグループ単位が MirandaViewer のグラフ表示単位となります。
グループ定義では最大 64 グループを定義できます。グループ単位で、収集周期や収集する信号を個別に設定できます。



① MirandaEngineerのツリーから[グループ － サンプルグループ]を選択する。

② [収集信号一覧]画面の[収集信号選択]をクリックする。

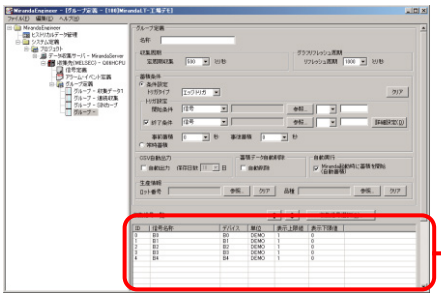
図 3-8 信号選択



③ 左の一覧から収集信号を選択して、[追加→]をクリックする。

④ [OK]をクリックする。

図 3-9 収集信号選択操作



収集信号選択画面で追加した信号が表示されます。

図 3-10 信号一覧画面からの信号設定操作

3.4. プロジェクトの保存

定義したプロジェクトの内容をファイルに保存します。

① [ファイル]→[上書き保存]を選択する。

図 3-11 上書き保存

3.5. MirandaEngineer 終了

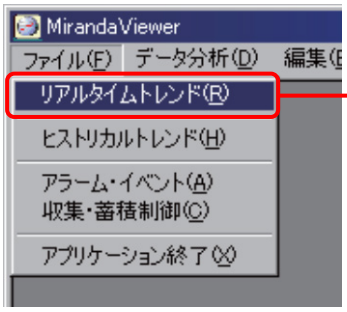
MirandaEngineer のメニューから、[ファイル]→[アプリケーションの終了]を選択します。

4. リアルタイムトレンドを見る

4.1. MirandaViewer 起動

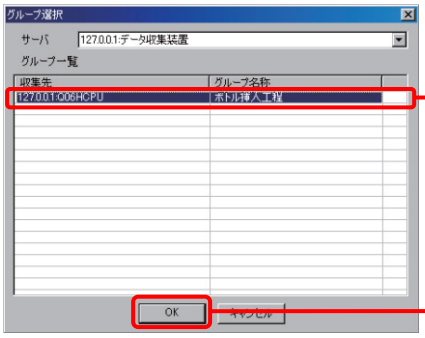
[スタート]→[プログラム]→[Miranda]→[MirandaViewer]を選択します。
または、デスクトップにある MirandaViewer のショートカットをクリックします。

4.2. リアルタイムトレンド表示



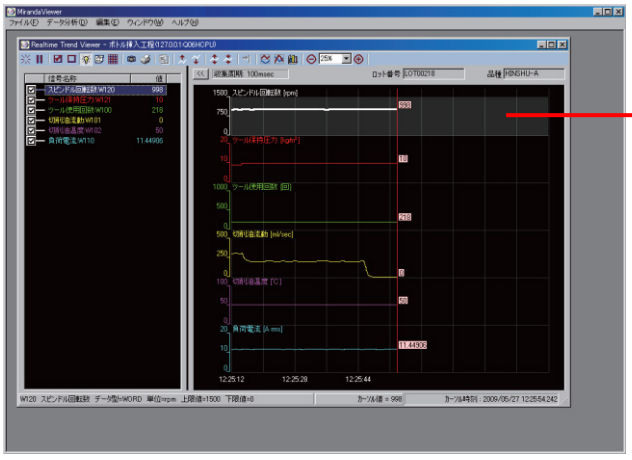
① MirandaViewerのメニューから、[ファイル]→[リアルタイムトレンド]を選択する。

図 4-1 メニュー選択



② [グループ一覧]から表示するグループを選択し、[OK]をクリックする。

図 4-2 グループ選択



「リアルタイムトレンド」画面が表示され、グラフが表示されます。

補足

・リアルタイムトレンドが表示されない場合
Miranda-LT 取扱説明書「3.4.2 リアルタイムトレンド表示」

図 4-3 リアルタイムトレンド画面表示

4.1. MirandaViewer 終了

MirandaViewer のメニューから、[ファイル]→[アプリケーションの終了]を選択します。

2015 年 5 月 29 日　　初版発行

連絡先　三菱電機コントロールソフトウェア株式会社　トータルソリューション事業所
（東京）〒140-0014　東京都品川区大井 1 丁目 20 番 6 号　住友大井町ビル北館 4F
TEL. (03) 5718-3350　　FAX (03) 3449-8152
（関西）〒650-0027　神戸市中央区中町通 2 丁目 1 番 18 号　日本生命神戸駅前ビル 11F
TEL. (078) 360-3650　　FAX（078） 360-3653
（名古屋）〒462-0825　愛知県名古屋市北区大曽根 3-15-58　大曽根フロントビル 7F
TEL. (052) 910-1671　　FAX（052） 910-1672

・ Miranda は三菱電機コントロールソフトウェア株式会社の登録商標です
・ Microsoft、Windows、WindowsNT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
・ Pentium は IntelCorporation の登録商標または商標です。
・ MELSEC、GX Developer は三菱電機株式会社の商標です。
・ Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
・ その他、本文中における会社名及び製品名は、各社の商標又は登録商標です。